

のうせい 佐用

農業委員会だより

第 58 号

令和 2 年 11 月 5 日発行

佐用町農業委員会

TEL.82-0667 (農林振興課)

FAX.82-0017

ちくさ刊



令和元年の品評会のようす

今年も自然薯の季節がやってきました。

晩秋の早朝、冷え込みにより霧に覆われます。霧が発生する気候条件により、粘りの強い上質な自然薯ができるとされています。

自然薯は消化促進に優れ、滋養、強壮に効果があるスタミナ食品としてもよく知られており、贈答品としても人気があります。

佐用町自然薯部会（会員 21 名）は、11 月 7 日から道の駅宿場町ひらふく、真盛直売所のほか町内 2ヶ所で販売を始めます。

町内では部会員の皆さんを中心に、約 70 a で栽培されています。

農業委員会からの お知らせ

☎ Tel 82-0667
infomation

農地パトロールを実施しました

農業委員会では、8月20日に町内一斉の農地パトロールを実施しました。今回のパトロールでは、昨年度に許可をした農地転用の進捗状況と、遊休農地の発生状況を中心に農地を確認しました。

パトロールでは、草が生い茂り、管理が不十分な農地が見受けられました。管理を怠ることにより、害虫や害獣のすみかとなったり、不法投棄されたりする恐れがありますので、草刈りや耕耘など適正な管理をお願いいたします。



農地パトロールの様子

農地についての疑問やお

困りの際には、地域の農業委員、農地利用最適化推進委員までご相談ください。

全国農業新聞を購読しませんか

全国農業新聞は、農業委員会ネットワークが発行する週刊の農業専門誌です。農業者の幅広い情報を週刊で発信しています。

■様々な問題に、じっくり鋭く迫ります

週刊誌の特性を生かして、企画を重視しじっくりと解説をします。また、農政・時事・経営問題には鋭く斬り込み、1週間の農業・農政の動きを分かりやすくまとめています。

■充実した経営情報と流通の現場情報を伝えます

激変・変革の時代。専業・兼業を問わず農業経営にとって「情報」が命です。「経営・技術・流通」で、経営に役立つ旬の情報をお届けします。

■地域を元気にする情報を提供します

地域別の中山間農業やブランド化などの地域農業の活性化事例や、鳥獣対策について提供します。

■月4回金曜日発行

■月700円（税込）

申込みを検討される方は、地域の農業委員、農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局までお問合せください。



農業者年金に加入しませんか

農業者年金は、農家のことを知りつくした農家のための年金です。

農業者の皆様も、農業者年金に加入して、安心で豊かな老後を迎えましょう。

農業者年金の特徴

★農業に従事されている方は誰でも加入できます。

60歳未満の国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く）であって年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。

★保険料は自分で選べ、いつでも見直せます。

自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ（月額2万～6万7千円の間で千円単位）、経営の状況や老後設計に

ていつでも見直せます。

★税制面で大きな優遇措置があります。

支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります。（支払った保険料の15%～30%程度が節税）
ご加入を検討される方は、農業者年金基金または農業委員会までご連絡をお願いします。

☎ 農業者年金基金

03・3502・3199

許可申請締切日

農地に関する許可申請の締め切りは、毎月末です。

12月委員会分	11月30日（月）
1月委員会分	12月28日（月）
2月委員会分	1月29日（金）

編集委員会

委員長 藤本 浩
委員 井上 建治
委員 小原 孝文
委員 伊東 正生
委員 吉田 将光
委員 福原 正幸
委員 野村 秀樹
委員 井垣 広幸